

2023年 12月 10日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②小山美枝子姉

賛 美 聖歌137番「入れまつる家あらず」
～ワンス・アゲイン～

使徒信条

聖書朗読 ローマ人への手紙4章16～22節

特別賛美 プレミアム・クワイア

メッセージ 「アブラハムのように信仰を持ち続ける」
石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献金・賛美 聖歌229番「アメイジング・グレイス」

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 「主を待ち望む者は」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日の聖餐の恵みを通して主の十字架とご復活の御業を賛美致します！

☆今週の祈り会： ○早天祈禱会、明朝6時。 ◎木曜：午前10時半、
夜7時半（大和祈禱会ライブ映像）。 ○準備祈禱会：土曜夜8時。

★来週の日曜日は、午後、聖歌隊の練習です（司会：石井兄 祈禱：白川兄）。

☆今年も一年守られたことを感謝して「年末感謝献金」をお捧げ致しましょう！

★☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [12/10-17]								
Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	1ペテロ 1-4	5/ 2ペテロ 1-3	1ヨハネ 1-4	5/2・3ヨハネ /ユダ	ホセア 1-7	8- 14	ヨエル 1-3	アモス 1-5
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇 〇

「アブラハムのように信仰を持ち続ける」

～全生涯をかけて主を信頼し続けた人物に倣う～

「彼は不信(不信頼)をもって神の約束について心を動揺させる(疑いをはさむ)ことがなく、信仰によって強くなってゆき(力づけられ)、神に賛美(栄光)をささげ、また、神がご自身のみことばを守る(ご自分がされた事を果たす)ことのおできになる(その能力がある)ことに十分な満足をもって(確信を持って)いました。」ローマ人への手紙4章20、21節 [詳訳聖書]

「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。」と約束されたアブラハムはその時から、この無から有を生じさせてくださる神様を信じて人生の旅を開始しました。その時は75歳でした。そして、「約束の子」であるイサクが与えられたのは100歳の時でした。25年間主の約束を信じて待ち望み続けました。しかし、25年と言う期間が物凄い長い年月であったということが重要なのではなく、「不可能」と思える事柄を通して神様が御業をなされるということをアブラハムに教えたかった。というのは、彼が75歳の時、その約束を与えられた時点で、彼はもうすでに年老いていたので、自分たちに実際の子が与えられるとは思ってはいなかったことでしょう。しかし、神様は「不可能」と思える事実を通して、約束を実現しようとされました。神様は敢えて私たちの考えの及ばない方法を通して大きな事をなさろうとすることがあります。それは、私たちの信仰を本物の信仰にするため。神様は、筋金入りの信仰になるまで、アブラハムを鍛え上げられました。その間に、アブラハムも多くの試練や失敗を重ねてしまいました。また、イサクが生まれたから、子どもを捧げるようにという身を裂かれるような痛みを覚える信仰のテストを受けました。アブラハムの人生そのものが神様への信仰の訓練の人生であったようにも受け取れます。

私たちに対しても神様は、全生涯を通じて神様を信じ続けるようにと導かれています。どうして、クリスチャンになってもなお、試練や苦しみが起こるのか？いや、時として、信仰を持ったことで、さらに人生の闘いを経験するということが起こります。しかし、それらはすべて、私たちの信仰が練り清められるため、私たちが全生涯を通じて、神様だけを信じて完全に主に頼る者となるように導かれているのです。ですから、どんなことが起こったとしても、神様だけを見上げて、心から信頼して従い続けなければなりません。

その神様はイサクの身代わりに雄羊を用意してくださいました。そして、アブラハムの時代から約2千年も経過してから、天からの神様のお一人子であるイエス様が来られて、全人類、私たち一人一人のために、身代わりに、無力で、純粋な小羊となって死んでくださいました。この愛の神様に全力で信頼して、約束の信仰、約束の希望を受け取るために、私たちはこれからも、主への信仰を握り締めて進み続けていきたいと心から願います！